

下沢 ひろのぶ

しもざわ

市政報告 コミュニティ



ご挨拶

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、今年に入り、国のリーダーを決める衆議院議員総選挙に始まり、時を同じく、石川県そして金沢市も政治の舵取り役である知事選挙と市長選挙がおこなわれました。

この間、たくさんの方々と接し身近な政治のあり方や、国・県・市の連携の重要性を述べさせていただきました。そこで今回、改めて令和7年度の主な活動や計画案件をお伝えたく、会報コミュニティvol. 22を発刊する運びとなりました。会報を通して、活動内容や政策を継続的に発信することは、皆様との信頼関係を深め、より開かれた政治活動を行う上で大変重要です。皆様からのご意見やご要望にも耳を傾け、地域の発展に貢献できるよう努めてまいります。引き続きのご指導ご鞭撻のほどお願いいたします。

敬 具

活動報告



粟崎やすらぎの林管理団体と金沢市との意見交換



粟崎やすらぎの林整備状況(近隣企業協力)



街頭市政報告



金沢市海岸砂防協会視察(安宅海岸)



小森代議士・村山市長とディスカッション市政報告



地震復旧事業 地籍再調査状況

令和7年度議会及び委員会での質疑応答要旨について

未来共創計画の進捗と取組について

Q 計画初年度の総括と次期「充実期」への展望、まちかど文化芸術プログラムの優先順位、市民芸術村のリニューアル、及び市民に選ばれる都市ブランド構築について問う。

A **[市長 回答]**
•**計画の総括:** 震災復興と並行し、都市再生緊急整備地域の申請や「こどもまんなかプラン」策定など、都市像具現化へ着手した。
•**次期への取組:** 少子化対策と防災力強化を軸に、社会情勢の変化へ柔軟に対応すべく庁内議論を深める。
•**文化芸術・施設整備:** 「まちかど文化芸術プログラム」を最優先で具現化。市民芸術村の長寿命化や部活動地域移行への対応を検討する。
•**都市ブランド:** 市民生活に根ざした「本物」の魅力を高め、外部資本とも連携し、市民・観光客双方に選ばれる都市を目指す。

能登半島地震からの復旧・復興と今後の対応について

Q 液状化被害地域における土地境界明確化への取組、災害時協力協定の運用課題と所管の見直し、及び公共施設管理の包括的民間委託の導入スケジュールを問う。

A **[市長 回答]**
•**復旧支援:** ものづくり会館内に「復旧支援相談窓口」を開設し、土地家屋調査士等の専門家と連携して早期復旧に向けたきめ細かな対応を行う。
•**協力協定の見直し:** 震災の課題を検証し、効果的な官民連携のために協定内容の見直しや、所管部署の検討を進める。
•**包括的民間委託:** 公共インフラの老朽化に対応するため、民間が施工まで一体的に行う仕組みを検討しており、来年度からのモデル実施を目指す。

中央卸売市場の再整備(青果棟の移転)について

Q 青果棟の移転先(金沢港東部)の選定妥当性と周辺の渋滞対策を問う。また、分散整備への計画変更後も、当初の設計業者を継続させる正当性と今後の進め方を確認したい。

A **[農林水産局長・中央卸売市場長等 回答]**
•**用地選定:** 広大な面積と高い広域アクセス性を備えた唯一の適地。周辺整備は県と協議する。
•**設計の継続性:** 手法は変わるが基本計画の根幹は不変。100回以上の協議成果を継承するため、現在の設計者と進める。
•**今後の対応:** 移転先の条件に合わせ設計を調整し、今年度の計画検証を経て再整備を完遂する。

若者に好かれる街づくりについて

Q 人口減少対策として不可欠な若年層の取り込みに向け、「未来へつなぐ金沢行動会議」の成果と、若者の意見を反映した具体的施策、および部局横断的な議論の進め方について問う。

A **[市長 回答]**
•**これまでの成果:** 若者の社会参画の場として「ユースセンター」の開設や、SNSによる「子育て広報アンバサダー」の導入を実現した。
•**交流場の創出:** 日銀跡地の利活用を含め、若者が街なかで文化芸術を体感・交流できる場を創出する。
•**定住支援:** 奨学金返還支援の拡充やスタートアップ支援を通じ、学び・働き・住み続けられる環境を全部局一丸となって構築する。

農業政策の展開と担い手支援について

Q 担い手不足や資材高騰、猛暑による厳しい現状を踏まえ、「金沢の農業と森づくりプラン2030」の方向性と、老朽化した農機・施設更新への個別要望に対する支援状況を問う。

A **[市長・農林水産局長 回答]**
•**プランの3本柱:** 「多様な担い手の育成」「稼ぐ力の向上」「未来へつなぐ農村づくり」を具現化する。
•**所得向上と技術指導:** 高性能農機による省力化、高温耐性品種の選定、インフルエンサー活用や加工業者連携による販路拡大を推進。
•**個別支援の徹底:** 農機・施設の更新に対し、経営規模に応じた支援制度を個別にアドバイス・周知する体制を徹底する。

公共交通の利用促進と次期戦略について

Q バス路線の維持が困難な中、利便性向上の鍵となる定時性確保に向けた「バスレーン社会実験」の成果と、次期「金沢交通戦略」の具体的なビジョンを問う。

A **[市長 回答]**
•**社会実験の成果:** 昨秋の実験では一般車両への影響を抑えつつ、バスの所要時間短縮を確認できた。
•**次期戦略の展望:** 定時性確保に加え、「金沢マース」の推進、モビリティハブの整備、連節バスの導入などを有機的に連携させる。
•**ネットワーク構築:** これら施策を統合し、将来にわたって持続可能な交通ネットワークを構築する。

金沢市中央卸売市場青果棟が湊3丁目に移転計画が決定。



完成イメージパース



建設地